

遺跡No	遺構種別	遺構No	時代	説明	グリッド	形態	主軸	長さ	幅	深さ	付属施設	出土遺物
60-260	古墳	0001	古墳時代後期	調査区西側に位置する古墳跡で、周溝の約半分は北側調査区外へと延びる。墳丘は既に削平されており、主体部及び盛土の堆積状況を確認することはできなかった。調査区範囲内での規模は、周溝内径約13.5m、周溝外径約18.2mで、周溝はやや歪んだ円形を呈し、幅は約2.4～3.3mを測る。周溝の断面形は逆台形を呈し、墳丘側は急角度に立ち上がる。	—	円墳	—	10.00	10.00	0.62	—	土師器坏・甕、円筒埴輪、朝顔型埴輪、形象埴輪、石鏃
60-260	古墳	0002	古墳時代後期	調査区南側に位置する古墳跡で、周溝の半分以上は調査区外へと延びており、主体部及び盛土の堆積状態を確認することはできなかった。周溝外径は推定で約24mとみられ、今回確認された古墳跡の中では最大規模。周溝はやや歪んだ円形を呈し、幅は約2.6～3.4mを測る。周溝北側は、土坑やピット、攪乱などにより部分的に乱されている。	—	—	—	—	—	0.60	—	円筒埴輪、形象埴輪
60-260	古墳	0003	—	第2号古墳跡から約70cm北側に位置する古墳跡で、周溝の大部分は調査区外へと延びる。主体部及び盛土の堆積状態を確認できなかった。周溝外径は推定で約8m、今回確認された古墳跡の中では最小規模である。周溝の断面形は逆台形を呈し、その幅は約0.7mを測る。	—	—	—	—	—	0.42	—	—
60-260	土坑	0001	—	調査区の北側に位置し、土坑の約半分は調査区外に延びている。	—	円形	—	0.93	0.38	0.25	—	—
60-260	土坑	0002	—	調査区の中央部に位置し、第2号古墳跡の周溝を上から切っている。	—	円形	—	0.81	0.50	0.14	—	—
60-260	土坑	0003	—	調査区の東側に位置する。	—	隅丸長方形	—	1.81	1.13	0.34	—	—
60-260	土坑	0004	—	調査区の東側に位置する。	—	円形	—	1.13	1.09	0.44	—	—
60-260	柱穴(ピット)	0001	—	調査区の中央部に位置し、第2号古墳跡の周溝を上から切られている。	—	円形	—	0.94	0.81	0.13	—	—
60-260	柱穴(ピット)	0002	—	調査区の中央部に位置している。	—	円形	—	1.00	0.81	0.14	—	—
60-260	柱穴(ピット)	0003	—	調査区の東側に位置する。	—	円形	—	0.75	0.56	0.12	—	—
60-260	柱穴(ピット)	0004	—	調査区の東側に位置する。	—	円形	—	0.69	0.62	0.06	—	—
60-260	柱穴(ピット)	0005	—	調査区の東側に位置する。	—	円形	—	1.10	0.63	0.19	—	—